

資料2-1

保証すべき品質（案）

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準		
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】主要幹線 JR	上伊那地域を出発し隣接圏域の病院に午前中に到着。診療を終え昼前後に帰宅できる便がある。	伊那市駅を出発して隣接圏域の高校への登下校に対応した便がある。 下校時は、終業後ほどなく塾や部活動後に合わせた便がある。	一次交通の位置づけであり、個別の観光地にあわせた路線や駅の設定などは行わないが、観光ニーズに対応した便が確保されている。	平日・土休日とも（同水準で運行）	概ね5～23時	20往復／日程度
【B】主要幹線 みすゞハイウェイバス	一次交通の位置づけであり、個別の通院にあわせた停留所等の設定は行わない。	一次交通の位置づけであり、個別の通学にあわせた停留所等の設定は行わない。	一次交通の位置づけであり、個別の観光地にあわせた停留所の設定などは行わないが、観光ニーズに対応した便が確保されている。	平日・土休日とも（同水準で運行）	概ね5～18時	4往復／日程度
【C】幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して直接もしくは【E】支線への乗り継ぎにより上伊那地域の病院に午前中に到着。診療を終え、昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区から上伊那地域の高校への登下校に対応した便がある。 下校時は、終業後ほどなく塾や部活動後に合わせた便がある。	当該軸に近接した観光地へのアクセスを視野に入れ、路線・バス停を設定する観光客の移動にあわせ、午前中は到着列車、午後は出発列車に接続できるようにダイヤを調整する。	平日・土休日とも（休日については減便・運休を許容）	概ね6～20時	10往復／日程度
【D】準幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して直接もしくは【E】支線への乗り継ぎにより上伊那地域または隣接圏域の病院に午前中に到着。診療を終え、昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区から上伊那地域または近隣圏域の高校への登下校に対応した便がある。 下校時は、終業後ほどなく塾や部活動後に合わせた便がある。	当該軸に近接した観光地へのアクセスを視野に入れ、路線・バス停を設定する観光客の移動にあわせ、午前中は到着列車、午後は出発列車に接続できるようにダイヤを調整する。	平日・土休日とも（休日については減便を許容）	概ね6～20時	10往復／日程度
【E】支線	[E] 支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる					
	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線への乗り継ぎにより上伊那地域の病院に午前中に到着。診療を終え、昼前後に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線への乗り継ぎにより上伊那地域の高校への登下校に対応した便がある。 下校時は、終業後ほどなく塾や部活動後に合わせた便がある。	各市町村において進行に注力する観光地へのアクセスについては、【A】広域高速交通軸、【B】主要幹線、【C】幹線からの乗り継ぎ等の調整を行い、原則として【E】支線にて担うものとする。	平日・土休日とも（休日については減便・運休を許容）	概ね7～18時	6往復／日程度